



八軒の歴史に思いをはせて

3月5日に、八軒会館ホールで、創作劇「わたりのとらひき 巨理渡来記すえ語り」が上演されました。劇内では屯田兵入植からの八軒の歴史が語られ、今年は琴似への屯田兵入植130周年の節目の年に当たることもあり、訪れた地元の住民は、興味深く劇に見入っていました。上演後の観客と主催者側との交流会では、参加した観客から劇の感想や意見などが出され、交流を深めていました。



ひなまつりに響く笛の音色

3月2日に、山の手養護学校で「ひなまつりコンサート」が開催され、児童生徒と教職員が美しい音色に耳を傾けました。フルートによる4重奏が奏でられたほか、最後には会場全員で「うれしいひなまつり」を合唱し、ひなまつりを楽しみました。



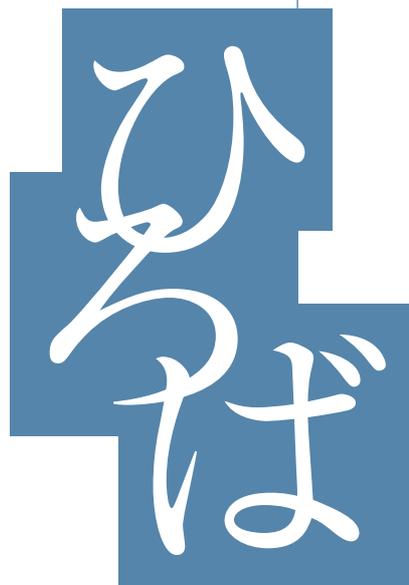
3年間の感謝を込めて

3月10日、琴似中学校を今春卒業する生徒3人が西区役所を訪れ、八反田元子西区長に「暮らしのいろいろなことでお世話になりました」と感謝の言葉を読み上げ、卒業報告を行いました。これは、同校の総合学習の一環として、在学中にお世話になった地域の方々に感謝と卒業の報告をするもので、生徒たちは区役所のほか、学校区内の45カ所を訪問しました。



ゲートボールで冬も元気はつらつ

3月10日に、西区体育館で第20回西区民ゲートボール大会が行われ、区民46人が参加し、日ごろの練習の成果を披露しました。チームはくじ引きで決められたため、中には同じチームでも初対面、というメンバーもいましたが、チームプレーを大切に、互いに親ぼくを深めていました。



区内で行われた
行事を写真で
紹介します。



広告欄